

復興記録誌「東日本大震災からの復興 10年の軌跡、未来への継承」の発行について

市では、復興計画期間の最終年度にあたり、これまで市民と協働で進めてきた東日本大震災からの復興まちづくりの取組と、そこから得られた課題や教訓などを広く周知することで、今後の防災対策や市民のさらなる防災意識の向上につなげることを目的に、復興に関する証言や体験談のほか、各種資料を収集・整理した「東日本大震災からの復興 10年の軌跡、未来への継承」を作成しましたのでお知らせします。

記

1 構成

はじめに（市長あいさつ）

第1章 被災前と被災後の市街地の状況

市内7地区の被災前と被災後の写真を掲載

第2章 東日本大震災の被害

東日本大震災の概要や被害状況を掲載

第3章 証言—東日本大震災からの復興の実態と教訓—

高台移転や中心市街地の再生、コミュニティの再生など、いくつかの分野別で復興事業に携わった市民をはじめとする多くの方々の「声」をインタビュー形式でまとめたものを掲載

第4章 復興の取り組み

10年間の復興の歩みから、復興の取り組みの成果、さらには、当市の復興事業の特色として、復興計画推進委員でもある学識経験者の方々に専門的な見地から寄稿いただいたものなどを掲載

第5章 復興推進体制

市及び市議会、地域の復興推進体制を掲載

第6章 復興後の大船渡市に向けて

復興期間10年間の振り返りとして、復興計画策定時に開催した「こども復興会議」に参加していた当時の中学生に再度参集いただき開催した10年後のこども会議の様子や市内で働く事業者と次代を担う高校生とのグループインタビューの内容を掲載

第7章 復興に向けて大船渡市がいただいた支援

全国各自治体から派遣いただいた支援職員の状況や、国内外の企業や個人、団体等からいただいた様々な支援について掲載

2 発行部数

- (1) 本 編 (A 4 版カラー193 ページ : 500 部)
- (2) 概要版 (A 4 版カラー67 ページ : 2,000 部)

3 配布先予定

- (1) 本 編 支援自治体をはじめとする関係自治体、国内外関係機関、市内小中学校及び気仙管内高等学校、地区公民館ほか
- (2) 概要版 上記のほか主に行政視察等対応分

4 その他

今後、データ版を市ホームページに掲載する予定です。

担当：災害復興局復興政策課 電話：0192-27-3111(内線 348)
--